

# キャッシュレジスターの輸入

- ☆2019年は、全国の輸入数量及び金額、ともに**過去最高**！
- ☆2019年の輸入数量は2018年と比べ**約1.6倍**に増加！
- ☆港別動向では、成田空港と東京港で**77%**を占める（数量ベース）

## はじめに

今では様々な店舗で使われているキャッシュレジスターですが、その歴史は約140年前まで遡ります。

当時、アメリカ・オハイオ州デイトンでカフェを開いていたジェームス・リティは、雇っていた従業員による売上金のごまかしや不正に苦慮していました。

彼は欧州航路でイギリスに渡った時、その船の操舵室で各種の計器を見て、圧力計の針の動きから、店舗における売上げ管理に計器の文字盤を活用することを思いつき、帰国後、技術者であった兄の協力を得て、1878年、世界で初めての金銭登録機「レジスター」を開発しました。

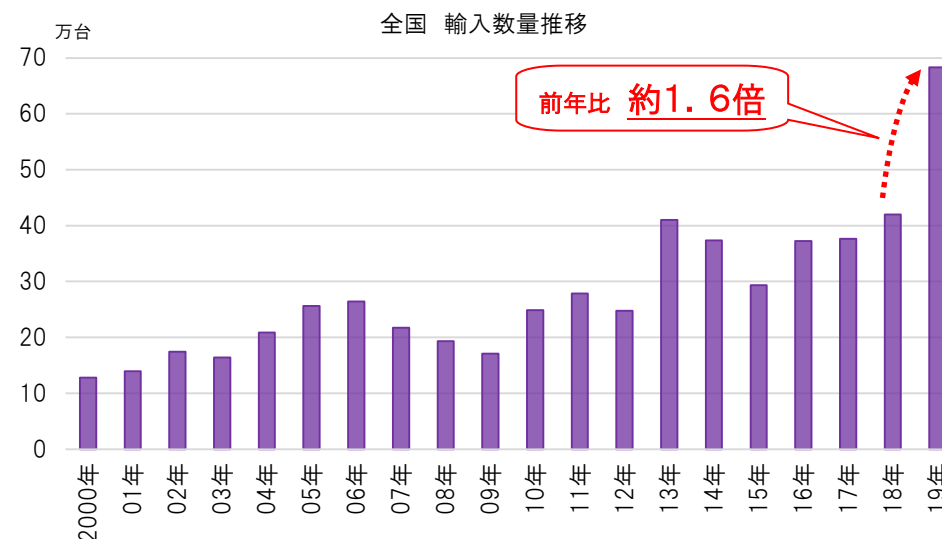
そのレジスターは、時計型の文字盤に1～9ドルを表示する短針と5～95セントを表示する長針を取り付け、その針を操作するための押しボタンが配列されたもので、ダイヤル式レジスターと呼ばれるものでした。売上げの都度、店員が押しボタンを操作することで売上げが表示されるようになり、これによって従業員の不正防止につながり、売上げ管理の改善に大きな成果を上げたと言われています。

※ 出典：一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 流通情報システム機器部会  
「小売業を支えたレジスタ・POSの125年」

本特集の「キャッシュレジスター」は、輸入統計品目番号及び輸出統計品目番号の8470.50に分類されるものです。

従業員の不正がきっかけで発案されたレジスターは、POSシステム化等の進化を遂げ、現在でも小売業の支えとなっています。2019年は、消費税の税率改正があったこと等を背景に、キャッシュレジスターの輸入数量が2018年に比べ1.6倍と大きく増加しました。

今回は、成田空港や東京港で多く輸入されているキャッシュレジスターにスポットを当ててみました。



## 年別動向

2019年の全国の輸入実績(右表)は、数量68万台、金額193億円となり、いずれも過去最高を記録しました。

直近の10年の推移を見ると、2013年に数量が前年比+65.6%、金額が同+96.3%及び重量が同+65.7%と大きく増加しています。この要因には、2014年4月の消費税の税率改正(5%→8%)への対応が挙げられるそうです。

次に2017年、数量が前年比+1.1%とほぼ横ばいであるのに対し、金額が+45.7%、重量が+61.8%と大きく増加しました。業界によると、この時期は人手不足の解消策として、食品スーパーを中

心にセルフレジ又はセミセルフレジの導入が進んだとのこと。これらのレジは小規模小売店が使うレジと比べ高機能、大型で1個当たりの価格や形状、重さが大きくなることから、輸入金額や重量を押し上げたのではないかとのことでした。

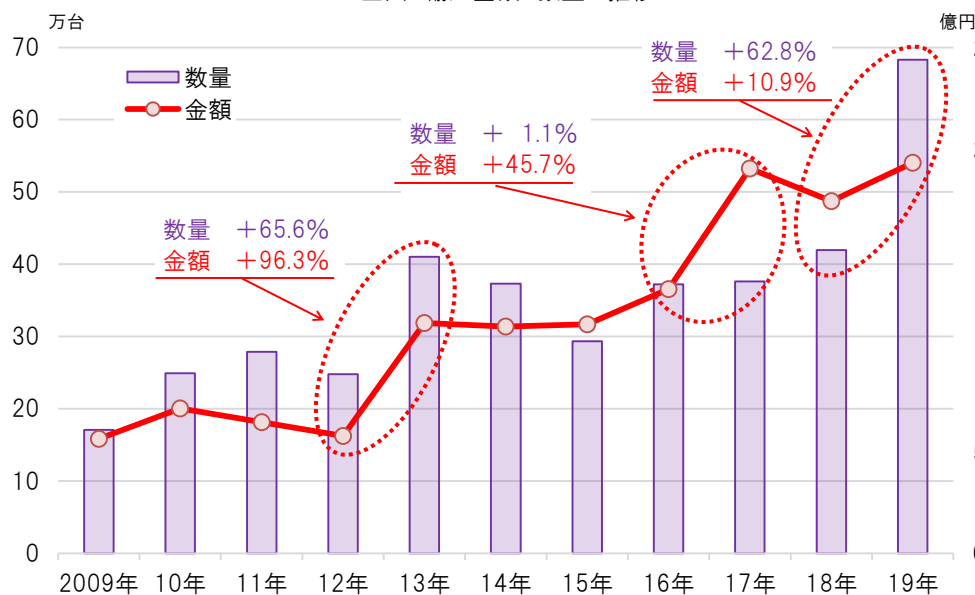
そして2019年、金額が前年比+10.9%、重量が前年比▲5.1%と2013年や2017年に比べ小幅な増減であるのに対し、数量が+62.8%と大きく増加しました。これは、冒頭で述べたように、消費税の税率改正への対応のほか、軽減税率の導入への対応やキャッシュレス化の推進を背景に、小規模小売店向けの小型キャッシュレジスターの輸入が増加したことが要因として考えられるそうです。

全国 輸入数量・金額・重量の推移

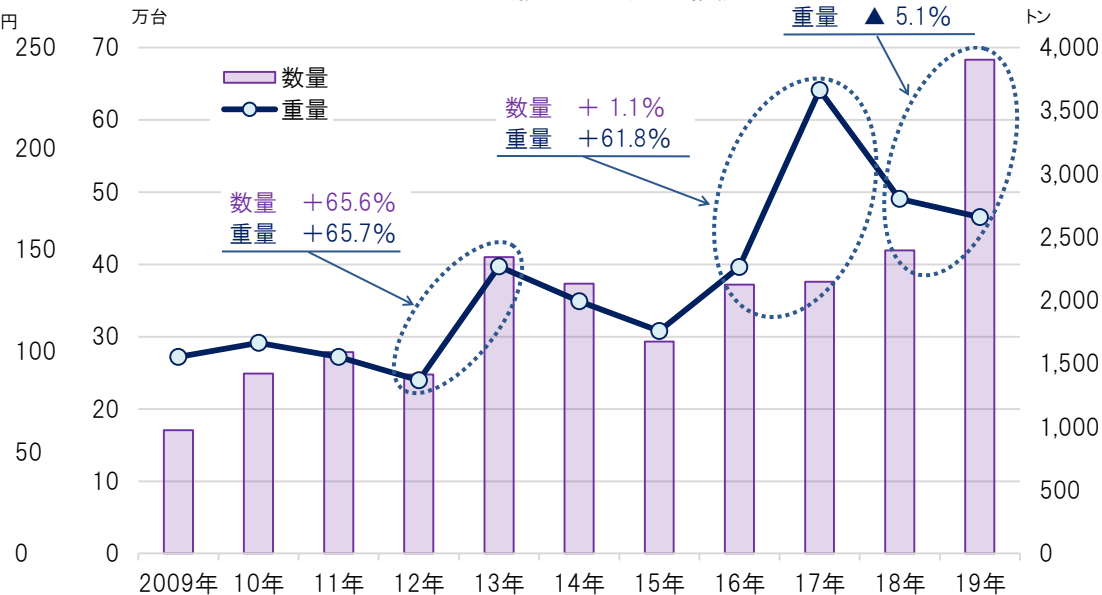
(単位 数量:万台 金額:億円 重量:トン)

年	数量	前年比	金額	前年比	重量	前年比
2009年	17	88.4%	57	79.3%	1,556	91.2%
10年	25	145.9%	72	126.5%	1,666	107.1%
11年	28	111.9%	65	90.4%	1,555	93.4%
12年	25	88.9%	58	89.6%	1,370	88.1%
13年	41	165.6%	114	196.3%	2,270	165.7%
14年	37	91.0%	112	98.4%	1,995	87.9%
15年	29	78.6%	113	100.9%	1,759	88.2%
16年	37	126.9%	130	115.4%	2,266	128.8%
17年	38	101.1%	190	145.7%	3,666	161.8%
18年	42	111.5%	174	91.5%	2,803	76.5%
19年	68	162.8%	193	110.9%	2,659	94.9%

全国 輸入金額と数量の推移

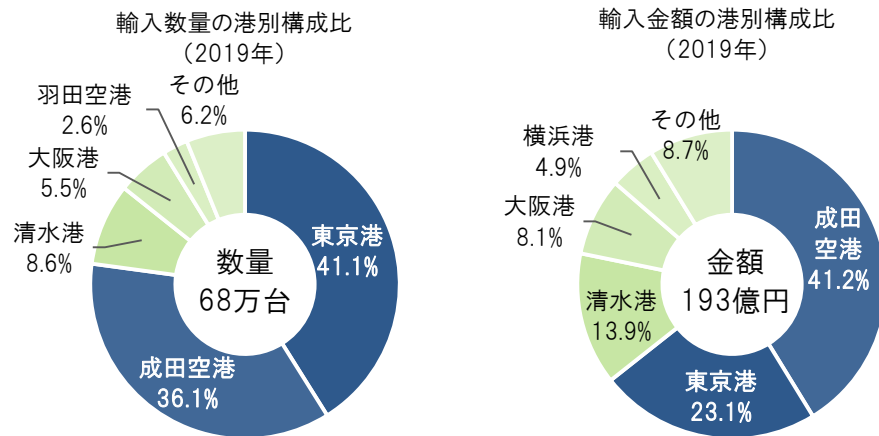


全国 輸入重量と数量の推移



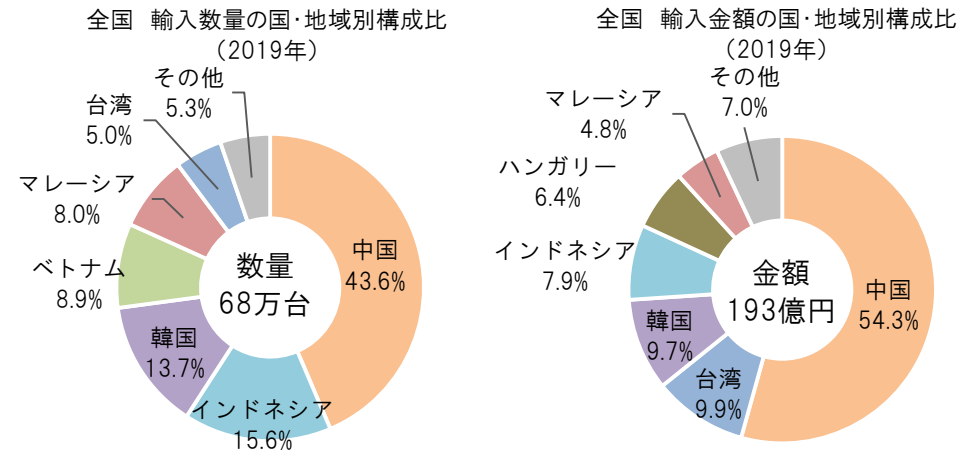
## 港別動向

2019年の港別輸入実績の構成比を見ると、数量では1位東京港、2位成田空港で、この2港で全体の77%を、金額では1位成田空港、2位東京港で全体の64%を占めています。両港の1台当たりの金額と重量は、東京港が1万6千円/台、3.2kg/台、成田空港が3万2千円/台、2.2kg/台となり、成田空港は東京港に比べ1台当たりの価格が高く、重量が軽い傾向となっています(航空貨物は一般的に、軽くて付加価値が高い商品が多く、キャッシュレジスターも同様の傾向となっています)。



## 国・地域別動向

2019年の国・地域別輸入実績の構成比を見ると、数量では1位中国、2位インドネシア、3位韓国、4位ベトナム、5位マレーシア、6位台湾となっています。金額では1位中国、2位台湾、3位韓国、4位インドネシア、5位ハンガリー、6位マレーシアとなりました。中国やインドネシアは国内キャッシュレジスターメーカーの生産拠点となっているようです。

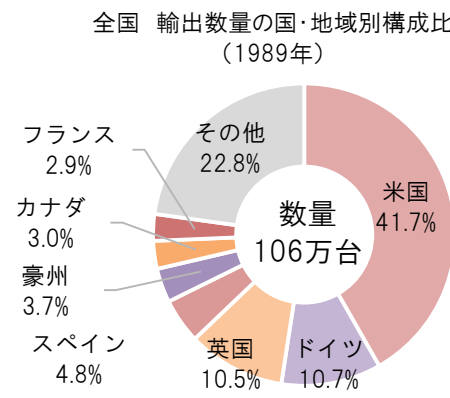
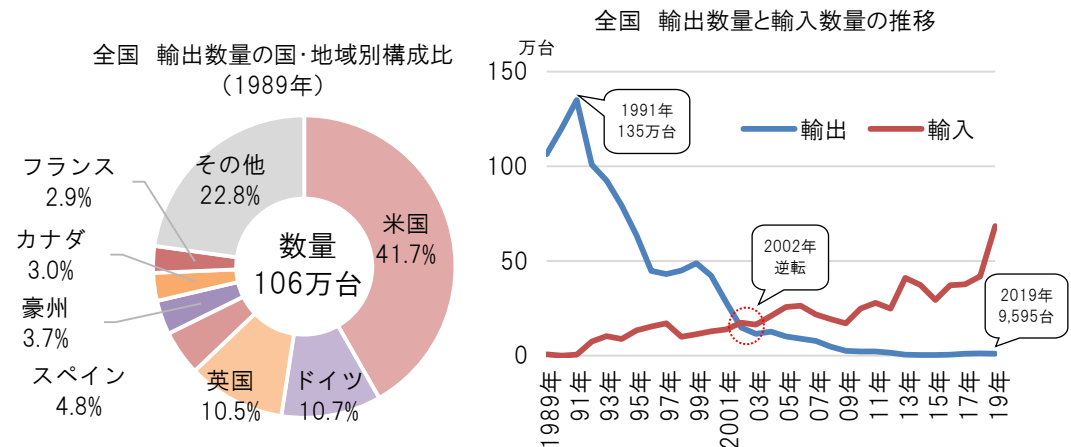


## 〈参考〉輸出動向

かつて、キャッシュレジスターは日本国内で大量に生産され世界各国に輸出されていました。30年前の1989年は、主に米国や欧州向けに106万台のキャッシュレジスターが輸出されました。同年の機械統計年報によると、国内で生産されたキャッシュレジスターの数量は159万台(※)ですので、生産台数の67%が輸出されていたことになります。

輸出入の数量の推移を見ると、1989年は圧倒的に輸出が輸入を上回っていましたが、国内メーカーの生産拠点の海外移転等に伴い減少傾向となり、2002年に逆転、2019年の輸出数量は9,595台となり、輸出数量が135万台と過去最も多かった1991年と比較すると▲99.3%となっています。

※ 出典:「平成元年 機械統計年報」通商産業大臣官房調査統計部編  
<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/seidou/index.html>



全国 輸入数量・金額・重量の推移

(単位 数量:台 金額:百万円 重量:トン)

年	数量	対前年比	金額	対前年比	重量	対前年比
2009年	170,634	88.4%	5,659	79.3%	1,556	91.2%
2010年	248,922	145.9%	7,160	126.5%	1,666	107.1%
2011年	278,566	111.9%	6,474	90.4%	1,555	93.4%
2012年	247,680	88.9%	5,799	89.6%	1,370	88.1%
2013年	410,276	165.6%	11,383	196.3%	2,270	165.7%
2014年	373,238	91.0%	11,207	98.4%	1,995	87.9%
2015年	293,419	78.6%	11,312	100.9%	1,759	88.2%
2016年	372,239	126.9%	13,049	115.4%	2,266	128.8%
2017年	376,292	101.1%	19,011	145.7%	3,666	161.8%
2018年	419,668	111.5%	17,398	91.5%	2,803	76.5%
2019年	683,133	162.8%	19,294	110.9%	2,659	94.9%

港別輸入数量・金額・重量(2019年)

(単位 数量:台 金額:百万円 重量:トン)

港	数量	構成比	金額	構成比	重量	構成比
東京港	280,668	41.1%	4,459	23.1%	893	33.6%
成田空港	246,312	36.1%	7,957	41.2%	545	20.5%
清水港	58,524	8.6%	2,675	13.9%	386	14.5%
大阪港	37,624	5.5%	1,572	8.1%	340	12.8%
羽田空港	17,984	2.6%	346	1.8%	119	4.5%
横浜港	11,823	1.7%	943	4.9%	172	6.5%
博多港	11,676	1.7%	879	4.6%	149	5.6%
関西空港	9,951	1.5%	161	0.8%	7	0.3%
名古屋港	5,318	0.8%	70	0.4%	29	1.1%
門司港	2,901	0.4%	194	1.0%	18	0.7%
その他	352	0.1%	38	0.2%	2	0.1%
全国	683,133	100.0%	19,294	100.0%	2,659	100.0%

全国 国・地域別輸入数量・金額・重量(2019年)

(単位 数量:台 金額:百万円 重量:トン)

国・地域	数量	構成比	金額	構成比	重量	構成比
中国	297,778	43.6%	10,479	54.3%	1,229	46.2%
インドネシア	106,323	15.6%	1,527	7.9%	649	24.4%
韓国	93,715	13.7%	1,873	9.7%	93	3.5%
ベトナム	60,612	8.9%	897	4.7%	44	1.6%
マレーシア	54,634	8.0%	918	4.8%	217	8.2%
台湾	34,154	5.0%	1,915	9.9%	177	6.6%
タイ	23,270	3.4%	270	1.4%	151	5.7%
ポーランド	8,200	1.2%	118	0.6%	2	0.1%
ハンガリー	4,011	0.6%	1,234	6.4%	96	3.6%
その他	436	0.1%	63	0.3%	3	0.1%
世界	683,133	100.0%	19,294	100.0%	2,659	100.0%

全国 輸出入数量・金額の推移

(単位 数量:台 金額:百万円)

年	輸出		輸入	
	数量	金額	数量	金額
1989年	1,063,719	48,975	6,221	252
1990年	1,201,293	55,280	372	52
1991年	1,349,165	55,759	5,791	109
1992年	1,008,148	41,783	73,666	870
1993年	925,937	35,041	103,645	1,337
1994年	794,217	30,100	87,370	1,228
1995年	635,290	22,610	133,742	2,127
1996年	448,156	17,811	153,934	3,412
1997年	430,175	18,462	170,308	4,816
1998年	449,564	18,181	99,807	3,528
1999年	488,251	20,544	112,741	3,303
2000年	422,629	15,103	127,870	2,834
2001年	281,315	13,364	139,112	4,515
2002年	149,486	8,917	174,141	4,327
2003年	115,072	6,944	164,179	3,964
2004年	127,373	7,760	208,723	6,719
2005年	100,881	8,147	256,282	9,540
2006年	89,896	7,503	264,251	9,685
2007年	77,236	6,614	217,440	8,400
2008年	47,362	3,863	192,967	7,133
2009年	24,726	2,180	170,634	5,659
2010年	21,587	1,616	248,922	7,160
2011年	21,976	2,126	278,566	6,474
2012年	14,848	1,478	247,680	5,799
2013年	5,187	581	410,276	11,383
2014年	3,387	274	373,238	11,207
2015年	3,102	263	293,419	11,312
2016年	4,502	314	372,239	13,049
2017年	11,109	616	376,292	19,011
2018年	12,388	691	419,668	17,398
2019年	9,595	176	683,133	19,294

全国 国・地域別輸出数量(1989年)

(単位 台)

国・地域	数量	構成比
米国	444,084	41.7%
ドイツ	113,613	10.7%
英国	111,253	10.5%
スペイン	51,182	4.8%
豪州	38,873	3.7%
カナダ	31,759	3.0%
フランス	30,350	2.9%
オランダ	22,215	2.1%
南アフリカ共和国	20,556	1.9%
その他	199,834	18.8%
世界	1,063,719	100.0%

取材協力:一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会  
流通情報システム機器部会

本資料を引用する場合、東京税関の資料による旨を注記して下さい。  
東京税関HPIに数値データ(EXCEL版)を掲載しています。  
本資料に関するお問合せは以下へお願いします。  
東京税関 調査部 調査統計課 TEL:03-3599-6385

貿易統計の数値はインターネットでも検索できます。

財務省貿易統計

検索



東京税関

〒135-8615 東京都江東区青海2-7-11 東京港湾合同庁舎  
http://www.customs.go.jp/tokyo/